

平成25年度当初予算 施策 取組概要

143 支え合いの福祉社会づくり

(主担当部局：健康福祉部)

14301	地域福祉活動と権利擁護の推進	(健康福祉部)
14302	福祉分野の人材確保・養成	(健康福祉部)
14303	福祉サービスの適正な確保	(健康福祉部)
14304	ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進	(健康福祉部)
14305	生活困窮者の生活保障と自立支援	(健康福祉部)
14306	戦傷病者等の支援	(健康福祉部)

県民の皆さんとめざす姿

地域住民による支え合いの体制づくりが進み、福祉分野における必要な人材が確保されることで、高齢者や障がい者、生活困窮者などが、その人の状況に応じて、必要な福祉サービス等を利用し、誰もが安心して暮らせる地域社会が構築されています。

平成27年度末での到達目標

地域住民がボランティアに参加するなど、地域福祉活動が活発化するとともに、福祉・介護人材の確保・養成等を進めることにより、地域の高齢者や障がい者、生活困窮者などのうち福祉的支援を必要とする人びとに対し、質の高い福祉サービスの提供や利用のための支援が行われています。

県民指標				
目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値
福祉サービス利用援助を活用する人数	—	1,150人	1,250人	1,450人
	1,026人	—	—	—
目標項目の説明				
【目標項目】 三重県地域福祉権利擁護センターが実施する福祉サービス利用援助事業の契約人数				

活動指標					
基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
14301 地域福祉活動と権利擁護の推進	民生委員・児童委員活動件数	530,000件	—	541,000件	562,000件
14302 福祉分野の人材確保・養成	介護関係職の求人充足率	29.2%	—	32.8%	40.0%
14303 福祉サービスの適正な確保	適正な運営を行っている社会福祉法人の割合	79.0%	—	79.5%	80.5%

基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	27年度 目標値
14304 ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進	さまざまな主体の連携によるユニバーサルデザインの取組実施数	45件	—	70件	120件
14305 生活困窮者の生活保障と自立支援	生活困窮者等の就労・増収達成率	50.0% (23年度)	—	50.0% (24年度)	50.0% (26年度)
14306 戦傷病者等の支援	戦傷病者等の支援事業への参加者数	1,145人	—	1,145人	1,145人

### 進捗状況（現状と課題）

- ・ 地域支え合い体制づくり事業等により、高齢者や障がい者等が地域で自立した生活を続けられるよう支援を行っていますが、今後ますます増大する福祉ニーズに対応するためには、地域を主体とした民生委員・児童委員やボランティア活動、NPO等の取組が重要となっています。
- ・ 判断能力に不安のある高齢者や障がい者等に対する日常生活自立支援事業への支援を行っていますが、高齢化の進展等により今後も利用者の増加が見込まれ、それに応じた実施体制や財源の確保が課題となっています。また、成年後見制度の利用推進に向けた取組を進める必要があります。
- ・ 介護雇用プログラム事業の実施などにより介護分野における人材の確保を進めていますが、介護現場は依然として人手不足の状況が続いています。また、高齢化の進展等に伴い、中長期的な観点からも、福祉・介護人材の確保・育成を進めることが必要となっています。
- ・ 社会福祉法人や介護保険事業者への定期的な指導監査の結果、社会福祉法人の運営費の資金流用や介護保険事業者の不正請求など不適正な運営が確認されており、今後とも増加する事業者への的確な指導監査の実施が課題となっています。
- ・ 身体に障がいのある方や妊産婦などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、「三重おもいやり駐車場利用証制度」を全市町の協力を得て平成24年10月1日から開始しました。当制度の普及啓発活動などを通じ、市町やユニバーサルデザインアドバイザーなどさまざまな主体とのネットワークづくりを進め、地域での自立的なユニバーサルデザインの活動を広げていくことが課題です。
- ・ 厳しい雇用・経済情勢や高齢社会を背景に生活困窮者の多い状況は継続しており、引き続き生活の支援と自立に向けた支援が求められています。また、生活保護世帯の子どもが大人になって再び生活保護を受給するといった「貧困の連鎖」の防止が必要です。
- ・ 戦争犠牲者への慰霊や、戦傷病者、戦没者遺族に対する支援が引き続き必要です。

### 平成25年度の取組方向

#### 健康福祉部

- ・ 地域における高齢者や障がい者などへの適切な支援を行う市町等の地域の支え合い体制づくりの取組を支援します。また、一斉改選を迎える民生委員・児童委員の研修や活動支援を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図ります。
- ・ 判断能力に不安のある高齢者や障がい者が、安心して地域で暮らすことができるよう、三重県社会福祉協議会が実施する日常生活自立支援事業を支援するとともに、関係団体と連携して成年後見制度の利用推進に取り組めます。

- ・ 福祉・介護分野の人材確保を図るため、福祉人材センターによる新たな人材の確保や、求人・求職者のマッチング等を実施するとともに、社会福祉研修センターが実施する社会福祉施設職員の研修事業を支援するなど、人材の育成を図ります。
- ・ 社会福祉法人や介護保険事業者等の不正事案に対して、実効性のある指導監査を実施していきます。また、平成 25 年度から社会福祉法人への指導監督権限の一部が市に移譲されるため、市と連携し、的確な指導監査に取り組みます。
- ・ 「三重おもいやり駐車場利用証制度」の普及啓発など、県民にとって身近なユニバーサルデザインの取組を通じ、さまざまな主体をつなぐネットワークづくりを行うとともに、次世代を担う子どもたちを中心にユニバーサルデザインの意識づくりを進めます。
- ・ 指導監査等を通じて生活保護の適正な実施を図るとともに、生活保護受給者の経済的自立や日常生活、社会生活の自立に向けた支援を行います。また、一般世帯と比較して高校進学率の低い生活保護世帯の中学生の高校進学を支援することにより、生活保護世帯の子どもが大人になって再び生活保護を受給するといった「貧困の連鎖」の防止を図ります。
- ・ 戦傷病者や戦没者遺族にかかる援護事業について、きめ細かな配慮を行いながら、適切に実施します。

## 主な事業

### 健康福祉部

#### ●地域支え合い体制づくり事業【基本事業名：14301 地域福祉活動と権利擁護の推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 202,525千円 → (25) 63,982千円

事業概要：市町、住民組織、NPO等が連携し、見守り活動チーム等の人材育成や地域資源を活用したネットワークの整備、先進的・試験的な事業の立ち上げなど、地域における日常的な支え合い活動を行う体制の整備を支援します。

#### ●日常生活自立支援事業【基本事業名：14301 地域福祉活動と権利擁護の推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 127,535千円 → (25) 135,080千円

事業概要：判断能力に不安のある認知症高齢者や知的障がい者等が安心して暮らしていけるよう、三重県社会福祉協議会が行う福祉サービスの利用援助等の活動を支援します。

#### ●民生委員一斉改選事務費【基本事業名：14301 地域福祉活動と権利擁護の推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) - 千円 → (25) 5,573千円

事業概要：3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、市町の推薦にかかる経費への補助や新任委員への研修等を行います。

#### ●福祉人材センター運営事業【基本事業名：14302 福祉分野の人材確保・養成】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 30,877千円 → (25) 41,768千円

事業概要：福祉人材センターに福祉・介護職場に関する求人・求職情報を集約し、無料職業紹介や福祉職場説明会の実施など、福祉・介護職場での就労を希望する人への相談・支援を行います。

●社会福祉研修センター事業費補助金【基本事業名：14302 福祉分野の人材確保・養成】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 16,595千円 → (25) 14,106千円

事業概要：福祉・介護職員の資質向上を図るため、社会福祉研修センターが実施する社会福祉施設職員に対する研修事業に補助を行います。

●社会福祉法人等指導監査費【基本事業名：14303 福祉サービスの適正な確保】

(第3款 民生費 第3項 生活保護費 1 生活保護総務費)

当初予算額：(24) 2,802千円 → (25) 4,040千円

事業概要：社会福祉法人の適正な運営、社会福祉施設等による適切なサービス提供の確保に向け、法人や施設等に対し、指導監査や実地指導等を実施します。

●三重おもいやり駐車場利用証制度展開事業【基本事業名：14304 ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 39,838千円 → (25) 2,325千円

事業概要：身体に障がいのある方や妊産婦、けが人などで、歩行が困難な方の外出を支援するため、市町やユニバーサルデザインアドバイザーなど、さまざまな主体と連携して「三重おもいやり駐車場利用証制度」の普及啓発を行うとともに、「おもいやり駐車場」の登録について、事業者等に協力を依頼します。

●UDのネットワークづくり推進事業【基本事業名：14304 ユニバーサルデザインのネットワークづくりの推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

当初予算額：(24) 3,622千円 → (25) 1,281千円

事業概要：ユニバーサルデザインの意識づくりを進めるため、学校出前授業を通して次世代を担う子どもたちへの啓発を行い、市町やユニバーサルデザインアドバイザーなどさまざまな主体をつなぐネットワークづくりを推進します。

●生活保護扶助費【基本事業名：14305 生活困窮者の生活保障と自立支援】

(第3款 民生費 第3項 生活保護費 2 扶助費)

当初予算額：(24) 2,007,229千円 → (25) 1,893,821千円

事業概要：生活に困窮する方に対して、憲法で定められた健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長するため、生活保護法に基づいて必要な扶助費を給付します。

●(一部新)生活保護適正化推進事業【(14305)生活困窮者の生活保障と自立支援】

(第3款 民生費 第3項 生活保護費 1 生活保護総務費)

当初予算額：(24) 12,124千円 → (25) 17,010千円

事業概要：生活保護法の適正な実施を支援するため、被保護者の状況把握のための各種調査、職員の資質向上のための研修等を実施します。

また、一般世帯と比較して、高校進学率の低い生活保護世帯の中学生に対し学習支援を行い高校進学を促進することにより、高校卒業後の安定した就労を図り、世帯の生活保護からの脱却と自立をめざします。

●遺族及び留守家族等援護事業【基本事業名：14306 戦傷病者等の支援】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 4 遺族等援護費)

当初予算額：(24) 10,497千円 → (25) 10,602千円

事業概要：戦傷病者及び戦没者遺族等への援護のため、特別弔慰金、特別給付金等の審査、裁定事務を行うとともに、戦傷病者相談員や戦没者遺族相談員を配置して、必要な相談・支援を行います。